

祝 1日乗車人数900名突破(8/23)!!

天高し、美しく澄みきった九月の青い空。ほぼひと月前、「昨日やっと900名を突破し915名を運ばせていただきました」みなと観光バス松本社長からの嬉しいニュースがとび込んできました。昼間の閑散としたバスに乗り込み、これで本当に走り続けられるのかなあ〜と不安な思いに駆られた日もありました。一番に感謝すべきは、利用して下さった住吉台の皆さん、ありがとうございます！そして、なんとしてでもバスを走り続けさせてやろうという関係者の方々の気迫、熱意、下支

えを忘れてはならないと思います。

1月23日開通式から8月までの乗車人数の推移

	月別乗車人数	1日平均人数
1月(1/23~)	4,554	506
2月	18,191	654
3月	21,893	706
4月	22,246	742
5月	22,610	729
6月	22,736	758
7月	23,602	761
8月	24,146	779

「くるくるバスを守る会」の会議風景

いつもは住吉台東住宅集会室で開かれる会議、今回(8/22)は、六甲アイランドのみなと観光バス本社で開かれました。くるくるバスの『育ての父』森栗茂一先生、神戸まちづくり研究所事務局、運行事業者、行政、そしてメンバー22名。「相変わらず路上駐車が多く、特にバス道からミニカーへの上り坂、そこから県営住宅ま

どいくつもの難問解決に無くてはならない方です。時には、バスの運転席でお見かけします。

この日の議題のひとつは、設置後一ヶ月の『ご意見箱』の開封。運行に関して、バス会社のご努力や運転手さんの親切への感謝の言葉を承りました。また、最大の関心事、阪神御影方面停留所の設置要望については現在、関係各方面に働きかけていただいていますので、今しばらくお待ちください。その他、運行時間の延長、車内の設定温度や音楽を流すこと、車体の色などについてご意見を承りました。時間延長については、利用人数の把握やダイヤ編成、そしてバス会社の採算などの問題をクリアすると同時に、バス道沿いの方のご意見も伺わなければならない今後の検討課題です。次に車内の設定温度ですが、遠慮無く運転手さんに申し出てください。それが“マイバス”の良さ。車内に音楽を流してはどうかというご提案については、駅まで10分、はたして音楽やラジオ放送を流すことが必要なのかどうか、安全運転を心掛けられる運転手さんの精神状態も考慮に入れなければなりませんね。(利用する側の携帯電話の使用マナーは言わずもがな)ご指摘の『護送車』のような車体の色については、住吉台のシンボルカラー(何色?)



での道路脇に停められるのは本当に困ります」とおっしゃる運転手の〇〇さん。乗客の安全第一を考えて走るのが使命、と毅然とした態度でハンドルを握ってくださっています。白黒(赤黄青!)のはっきりした方とお見受けしました。お隣の自称“電話番”の〇〇さんは、見た目もお話される口調も穏やかそのもの、しかし頭の中はコンピューター?ダイアグラム編成や定期券販売方法な

で、シックでおしゃれにキメていただければ、イメージもぐんとアップするでしょう。広告収入などを考えたら、流行りのコココーラの宣伝をラッピングした神戸市バス、あのようなラッピングバスも魅力的ですが。さて、くるくるバスがどのように生まれ変わるのか楽しみですね。バス車内設置「守る会」直通『ご意見箱』に、ご要望、ご質問、シンボルカラーなどについてもご意見をどしどしお寄せください。

バス運行路線上の路上駐車対策として、「守る

会」では危険箇所警告板を設置したり、独自にパトロール活動を行っています。毎回しつこく申しておりますが、**路上駐車をやめること**、これが事故を未然に防ぐ第一歩です。どうぞご協力をお願いいたします。

* 「くるくるバスを守る会」の会議はオープンにしています。私たちの活動に興味・関心がある方は一度のぞいてみてください。

* 次回会議は 10 月 18 日(火) 13 時 30 分～
住吉台東住宅集会室

住吉台は変わる！—21 世紀型のまちをめざして—

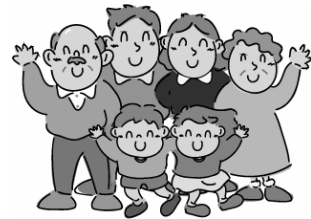
懐かしい「神戸みなと音頭」のメロディーが流れ、みんなで飾った花バスが子どもたちやお年寄りを乗せて、住吉台をゆっくりと巡る。

♪♪神戸、みーなーとーは、バスからバスへ、ヨイヤサ

♪ くるくるバスのーの くるくるバスのーの灯がとーもーる

♪ 住吉台まつりの、ヨーイ、ヨイヤサ

♪ 住吉台まつりの、ヨイヨイヨイヨイ、灯がとーもーる……と、森栗先生の白昼夢が続く……



1日乗車 900 人突破のニュースを聞いて、「涙が出るほど嬉しい。バスの神様からのご褒美だ。バスを通じて人と人が結びつき、子どもたちもお年寄りも安心して暮らせる、人・暮らし・命を大切にしたい 21 世紀型のまちが、いよいよ目前ですね」と喜びを語ってくださった森栗先生。計画当初から何度も足を運び、住吉台の隅々まで熟知され、住民よりも熱くなって問題解決に取り組んでくださり、内閣府でのくるくるバス関連の発表をはじめ、全国の交通コミュニティ参画に東奔西走、ご自身のセミナー開催などで大忙しの毎日です。住吉台音頭を流しながら走る花バスは、忙中閑あり、先生の白昼夢だったのでしょうか…いいえ夢ではありません。住吉台は、注目される町とし

て取り上げられ、交通事業者や行政機関、マスコミ、そしてコミュニティバスを走らせたいと活動を始めた市民団体が訪れるようになり、住吉台フィーバーが起こっています。バスが走って便利になり、駅前まで楽に行き来出来るようになったのは事実。しかし、それがゴールではありません。バスを走らせたことで、この地域がひとつにまとまり、高齢者問題・防犯・防災に至るまですべての面をカバーできる可能性がでてきました。住民主体の新しいまちづくりは夢ではなく、現実のものになりつつあります。先生、子どもの成長ぶりを見に、折を見ては住吉台にいらしてくださいね。

太田歯科



住吉台 13-18
Tel.811-1440



Tel.821-1058 (西川)

—あなたも身体にいいこと
始めてみませんか—
ストレッチ体操・ゴルフレッスン



編集後記

荒神山住宅から万翠園前バス停まで、私の足で 1 分弱、お足のご不自由な方は、休み休みして 20 分…それでもバスのお陰で外出が可能になったとお話して下さった大正 11 年生まれの 83 歳男性。敬老の日を前に、父の姿と重なりました。お元気で。U.N.

* 広告掲載へのご協力をお願いいたします。

お問い合わせは事務局まで